

	発表学会等	開催日時	演題(発表様式)	要旨	演者(※:筆頭演者)
1	沖縄生物学会 第52回大会	2015年5月30日	枝状ミドリシの 群体形に及ぼす水流の影響について	飼育環境下で水流の違いがサンゴの群体形に及ぼす影響を調べた。	※ <b>山本広美</b> ・政木清孝・ 富永昇・磯村尚子
2	11th International Conference TransNav	2015年6月17日 ~6月19日	Repellence Effect of the New Sound for Underwater Speaker of Hydrofoil	船舶と鯨類との衝突リスクを減少させることを目的に、船舶航行時、鯨類に対して忌避行動を誘発させるような音を船舶から再生し航行する研究について発表し、特に忌避音源に対する鯨類の反応について、実験結果を報告した。	※Nakashima, T. Kobayashi, N. Yamada, H. Katsumata, T. Yoshida, R. <b>Kato, H. Okabe, H. Kawazu, I.</b> Yanase, Y. Omine, M. Terada, M. Sugioka, H. Kyo, M.
3			Development of the Effective Underwater Speaker Sound Modulated by Audible Sound Frequency Range of Large Cetaceans for Avoidance with Ship Collision	船舶と鯨類との衝突リスクを減少させることを目的に、船舶航行時、鯨類に対して忌避行動を誘発させるような音を船舶から再生し航行する研究について発表し、特にその忌避音源の開発内容について報告した。	※Yamada, H. Kobayashi, N. Nakashima, T. Kato, H.
4	軟骨魚類研究会 Sharks in Tree Phyloinformatic Challenges in Life Sciences	2015年6月19日	板鰐類の系統と繁殖様式の多様性	サメやエイ類の繁殖様式の多様性と系統関係の関係性について紹介。	※ <b>佐藤圭一</b>
5			水族館が牽引する大型板鰐類の 繁殖生理学的研究	水族館で行っている大型板鰐類の繁殖生理学的な研究について紹介。	※ <b>野津了</b>
6	America Elasmobranch Society 年会	2015年7月15日 ~7月19日	Nourishment of white shark embryos with uterine milk during the early gestation period	ホホジロザメの繁殖に関する新知見を紹介。	※ <b>Sato, K. Nakamura, M.</b> Tomita T.
7			Change in catshark embryo respiratory mode during mid-embryonic period	トラザメ胎仔の呼吸様式の変遷に関する研究を発表。	※Tomita, T. Nakamura, M. Sato, K. Takaoka, H. Toda, M. Kawauchi, J. Nakaya, K.
8	Vth International Wildlife Management Congress	2015年7月25日 ~7月31日	Fractal and Sound Frequency Spectral Analyses of Humpback Whale Song in the Western Waters in Okinawa Island, Japan	ザトウクジラの雄個体が繁殖海域で発する特殊な鳴音の複雑性と周波数特性の経年変化を観察し、鳴音が年々複雑化し、鳴音に含まれる音が年々増加傾向にあることについて、報告、考察した。	※ <b>Kobayashi, N. Okabe, H.</b> Kawazu, I. Kato, H.
9	日本環境教育学会 第26回 大会	2015年8月21日 ~8月23日	ウミガメ飼育を通した学習活動事例	2007年より実施しているウミガメ飼育を通した学習活動「ウミガメから学ぶ環境学習」について紹介。	※ <b>前田好美</b> ・若井万里子・ <b>木野得克</b> ・真栄田賢・河津 勲
10	日本動物学会 第86回新潟大会	2015年9月17日 ~9月19日	雌タイマイ <i>Eretmochelys imbricata</i> の 初回排卵および卵殻形成	3頭の雌タイマイを用いて、交尾前日から初産卵日までの血液中プロゲステロン濃度測定と超音波画像診断装置による生殖腺観察を連日行った。	※ <b>河津 勲</b> ・鈴木美和・ <b>木野得克</b> ・ <b>前田好美</b> ・澤田 豊
11			組織栄養分泌型の繁殖様式をもつサメの 事例と系統	イタチザメやコギクザメを事例として、サメ類の繁殖様式の多様性について紹介。	※ <b>佐藤圭一</b> ・野津 了・ 伊東隆臣・北谷佳万
12			飼育下における雄ナンヨウマンタの 血中ステロイド量の動態	沖縄美ら海水族館で誕生した雄のナンヨウマンタのステロイドホルモン濃度の周年変動と性行動の関係について考察した。	※ <b>野津 了</b> ・村瀬清美・ <b>松本瑞偉</b> ・佐藤圭一
13	日本甲殻類学会 第53回大会	2015年10月10日 ~10月11日	海洋博公園におけるヤシガニの 生態調査と普及活動	海洋博公園内におけるヤシガニの長期間にわたる生態調査の概要と、その資源を活かした普及活動について紹介した。	※ <b>岡慎一郎</b> ・宮本 圭・ 徳清浩司・永田俊輔
14	第21回 「野生生物と社会」学会	2015年11月21日 ~11月24日	沖縄島北部におけるサンゴ・海藻調査の 結果公開方法	Webを活用したサンゴ・海藻調査の結果公開方法について紹介。	※ <b>山本広美</b> ・玉城 修・ 岩永洋志登・岩橋浩輔・ 伊集力也・岡地 賢・ 山川英治・長田智史・小澤宏之 ※ <b>山本広美</b> ・宇山聖奈・ 渡邊 怜・上村拓也・磯村尚子・ 政木清孝・久森紀之
15	日本サンゴ礁学会 第18回大会	2015年11月26日 ~11月29日	$\mu$ CTを用いたミドリシ放射射個体の 計測の試み	異なる水流環境で飼育したサンゴ個体の計測方法と計測部位について検討した。	※ <b>山本広美</b> ・宇山聖奈・ 渡邊 怜・上村拓也・磯村尚子・ 政木清孝・久森紀之
16	第26回 日本ウミガメ会議	2015年11月27日 ~11月29日	産卵上陸中のアオウミガメの 交通事故とその摘出卵の孵化成功	2015年8月16日の夜間に沖縄県大宜味村喜如嘉の国道58号線で、乗用車にひかれて死亡した雌アオウミガメについて紹介した。	※ <b>河津 勲</b> ・米須邦雄・ 嘉陽宗幸・宮本 圭
17			沖縄島におけるタイマイとアオウミガメの 緊急保護とサイズ組成	海洋博公園に緊急保護されたタイマイとアオウミガメのサイズ組成や時期を分析した。	※ <b>若井万里子</b> ・前田好美・ <b>木野得克</b> ・真栄田賢・山崎 啓・ 河津 勲
18			形態的に雑種と特定されたウミガメの 遺伝子検査法を用いた同定	ウミガメの雑種判定のための遺伝子検査法を開発し、その妥当性について紹介した。	※宮崎 海・保田昌宏・久澄倫之介・ 内田 桂・河津 勲・大年田一美・ 小出祥太郎・若本 俊孝
19	沖縄お魚ゼミ	2015年11月28日 ~11月29日	みじゅんホイホイ開発秘話	本部町のカツオ漁の活き餌確保の効率化を目的として開発した集魚灯トラップ(通称「みじゅんホイホイ」)の開発過程や実績について紹介した。	※ <b>岡慎一郎</b>
20			本部町周辺の魚類相調査と最近の小ネタ集	本部町周辺で実施している魚類相調査の結果報告、および近年収集された学術的に価値の高い標本類の紹介。	※ <b>宮本 圭</b>
21	水族館シンポジウム 「水族館と動物行動学。研究・展示・教育」	2015年12月11日 ~12月12日	海洋博公園に生息する野生ヤシガニ	海洋博公園におけるヤシガニの生息実態および生態的特徴を、9年に及ぶ長期の調査結果に基づいて紹介した。	※ <b>岡慎一郎</b> ・宮本 圭・ <b>松崎章平</b>
22	Society for Marine Mammalogy 2015 Conference	2015年12月13日 ~12月18日	Estimation of the Peak Months of Breeding Activities of Humpback Whales in the Okinawa Island Region of Southwest Japan	ザトウクジラの雌雄の発見頻度や群構成の情報から、世界でも未だ観察例の無い交尾の時期が、雌雄のペアが多く観察される1月末~2月末頃であると考察した。	※ <b>Okabe, H.</b> Kawazu, I. Higashi, N. Kobayashi, N. Miyahara, H. Kato, H. Uchida, S.
23	Society for Marine Mammalogy 2015 Conference	2015年12月13日 ~12月18日	Mating Competitive Advantage in Acoustic Property of Humpback Whale Song in the Western Waters of Okinawa Island, Japan	ザトウクジラの雌個体が多く分布する比較的水深の浅い海域では、周波数の低い鳴音を発する雄個体が多く分布する傾向にあったことから、鳴音の周波数の低い雄個体の方が高い雄個体に比べて、繁殖においては優位であるという可能性について考察した。	※ <b>Kobayashi, N. Okabe, H.</b> Kawazu, I. Higashi, N. Miyahara, H. Kato, H.
24	第60回 水族館技術者研究会	2016年1月28日 ~1月29日	アオウミガメ幼体に認められた嚢胞性腎疾患	嚢胞性腎疾患のアオウミガメにおいて、診断方法や血液生化学的特徴を紹介した。	※ <b>若井万里子</b> ・植田啓一・ <b>村瀬清美</b> ・真栄田賢・山崎 啓・ <b>木野得克</b> ・河津 勲・宮原弘和
25	International Symposium on Environmental Studies of Asian-Pacific Islands	2016年3月24日	Acoustic Properties of Songs Influence the Distribution of Male Humpback Whales in the Western Waters of Okinawa Island, Japan	ザトウクジラの雄個体が、繁殖海域で発する特殊な鳴音について、その周波数特性と分布傾向との相関を分析し、周波数の低い雄個体の方がより水深の浅い海域に分布する傾向について報告した。	※ <b>Kobayashi, N. Okabe, H.</b> Kawazu, I. Higashi, N. Miyahara, H. Kato, H.
26	平成28年度 日本水産学会春季大会	2016年3月26日 ~3月30日	飼育下における雌トラフザメの 卵胞発達とステロイドホルモンの関係	飼育されている雌トラフザメの卵胞サイズの変化とステロイドホルモン濃度の変動を調べ、その関係について考察した。	※ <b>野津 了</b> ・村瀬清美・ <b>松本瑞偉</b> ・矢野 渚・柳澤央央・ 佐藤圭一
27	2016年度 日本付着生物学学会	2016年3月30日	繁殖海域へ回遊しているザトウクジラに付着した オニフジツボの胚発生	濃着したザトウクジラに付着していたオニフジツボの胚発生過程を分析した。	※ <b>岡田実季子</b> ・鈴木美和・ 野方靖行・坂城徳子・岡部晴葉・ 河津 勲